



国道252号災害復旧だより

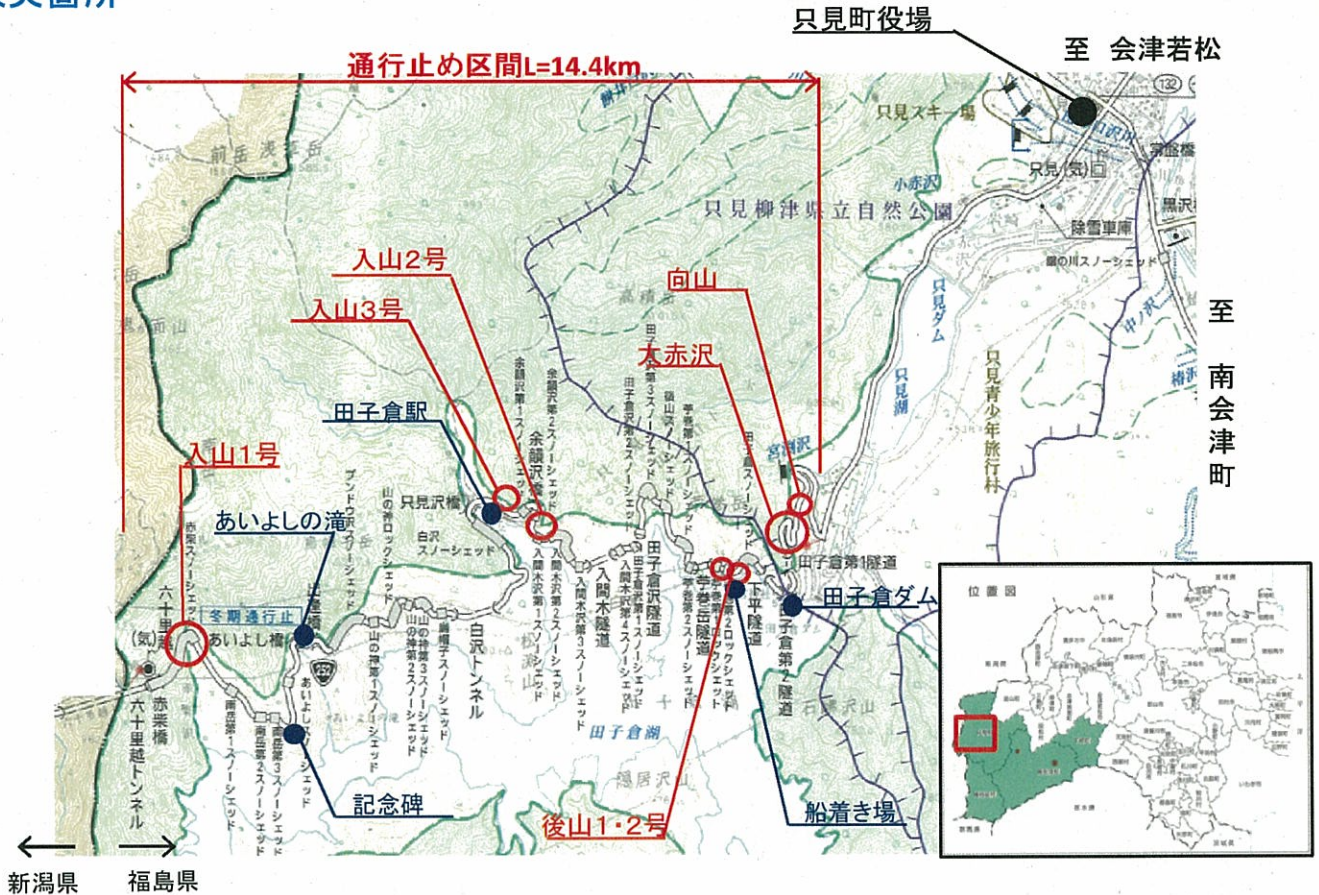


一般国道252号(南会津郡只見町大字田子倉字鬼面山～大字石伏字上宮淵)については、平成23年7月新潟福島豪雨により、7箇所で路面路肩決壊や法面崩壊などの被害を受けました。これにより、昨年
から、L=14.4kmについて、通行止めとなっております。

雪崩の危険がなくなった5月から復旧工事に本格的に着手し、一日でも早い再開通へ向けて、工事に尽力しているところです。

引き続き、皆様にはご不便をお掛けしますが、ご協力とご理解をよろしくお願いいたします。なお、工事の進捗について、適宜お知らせしていきます。

○被災箇所



○被災箇所の詳細

番号	箇所名	被災の概要	工事の進捗率
①	入山1号	スノーシート 上部工 補修L=31.2m 法面崩落A=1500m ² 土砂流出V=1100m ³	10 %
②	入山2号	法面崩落A=800m ² 路肩崩壊L=16.0m	20 %
③	入山3号	法面崩落A=390m ²	2 %
④	後山1号	法面崩落A=780m ²	2 %
⑤	後山2号	法面崩落A=510m ²	2 %
⑥	大赤沢	道路全幅崩壊L=40m 路肩崩壊L=80m 法面崩壊A=960m ²	40 %
⑦	向山	法面崩落A=320m ²	2 %

○被災状況写真

・入山1号



スノーシェッドの上の土砂を除去しました



スノーシェッドの上に流出した岩塊



スノーシェッドに入ったひび



現在は撤去の準備をしています

・入山2号



法面の土砂が崩壊し、道路がふさがれました



土砂を撤去し、法面に金網を張って、一車線を確保しました。今後は吹付砕工を実施します。



道路の路肩が崩壊し、JR線路の上に土砂が流出しました。

・大赤沢工区



道路がL=40m流出し、通行不可能となりました

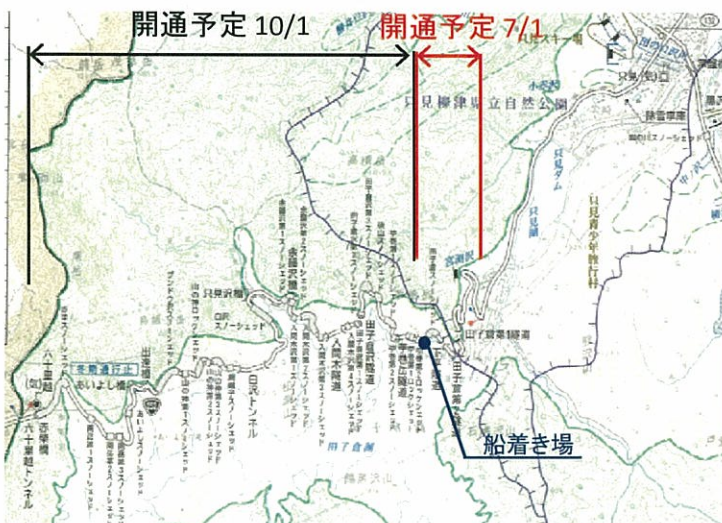


盛土により、片側一車線を確保して、工事用車両が通行できるようになりました



高さH=12mの擁壁が積み上がりました

○今後の予定



2回に分けて再開通を実施する予定です。

1回目：7月 1日 宮沢～船着き場

2回目：10月1日 船着き場～県境（全線）

1回目については、大赤沢工区の舗装・防護柵が完了後、速やかに再開通とします。

2回目については、入山1号工区のスノーシェッド架替えが完了し、安全が確認され次第再開通とします。

※当該区間では、再開通後も災害復旧工事や通常の維持管理工事が行われているため、数箇所片側規制を実施する予定です。

また、工事の進捗や天候により、再開通の日程については、前後することがありますので、ご了承ください。

問い合わせ先：福島県山口土木事務所業務課 電話 0241-72-2234

